

1 第23回参議院議員通常選挙

第23回参議院議員通常選挙は、平成25年（2013年）7月4日に公示され、同月21日に執行された。

今回の通常選挙は、平成24年の総選挙による政権交代後、初の大規模な国政選挙であった。

今回の選挙は、平成24年の公職選挙法の一部改正（福島県及び岐阜県選挙区の定数は各2減員、神奈川県及び大阪府選挙区の定数は各2増員の定数較差是正）に伴い、福島県及び岐阜県選挙区の改選数が1減、神奈川県及び大阪府選挙区の改選数が1増で行われた。また、前国会で行われた公職選挙法の一部改正によりインターネットを使った選挙運動が解禁されて以来、初めての国政選挙となった。

比例代表と選挙区を合わせた改選数121に対し、433人が立候補し、経済政策並びに憲法改正、原発再稼働及び消費税率

引上げの是非等を争点として選挙活動が行われた。

投開票の結果、自由民主党は65議席を獲得し、議席を大幅に増やした。また、公明党は11議席獲得した。この結果、非改選と合わせた与党派（自民、公明）の議席数は過半数を上回ることとなった。一方、改選前の第一会派を構成していた民主党の獲得議席は17にとどまった。また、みんなの党、日本共産党及び日本維新の会は、それぞれ8議席を獲得し、社会民主党は1議席を得た。生活の党及びみどりの風は議席を得なかった。

今回の投票率（全国平均）は、比例代表、選挙区とも52.61%となり、前回の通常選挙より、いずれも5.31ポイント下回った。

各党派別の獲得議席数は以下のとおりである。

党派	獲得議席数
自由民主党	65
民主党	17
公明党	11
みんなの党	8
日本共産党	8
日本維新の会	8
社会民主党	1
諸派	1
無所属	2
改選数計	121

（出典）総務省自治行政局選挙部「第23回参議院議員通常選挙結果調」

2 第184回国会概観

(召集・会期)

第184回国会(臨時会)は、7月21日に行われた第23回参議院議員通常選挙を受け、8月2日に召集された。

会期は、召集日の衆参両院本会議において、8月7日までの6日間とする旨議決された。

開会式は、召集日の午後3時から、参議院議場で行われた。

(院の構成)

第23回参議院議員通常選挙等を受け、召集日(8月2日)の本会議開会時点における会派別所属議員数は、自民113、民主59、公明20、みん18、共産11、維新9、社民3、改革3、生活2、各派に属しない議員3(副議長を含む)となった(欠員1)。

召集日の本会議において、山崎正昭副議長の辞任が許可された後、議長の選挙、議席の指定、副議長の選挙、常任委員の選任及び改選等による欠員を補充するための暫定措置として11常任委員長(内閣、総務、法務、財政金融、文教科学、厚生労働、農林水産、国土交通、基本政策、予算、行政監視)の選挙が行われた。

議長選挙では、無名投票の結果、第30代議長に山崎正昭君(前副議長)が当選した。副議長選挙では、無名投票の結果、投票数が名刺数を3票超過したため、更に無名投票を行った結果、第30代副議長に興石東君(民主)が当選した。同日、興石副議長は、所属会派を退会した。

7日の本会議において、17常任委員長

(内閣、総務、法務、外交防衛、財政金融、文教科学、厚生労働、農林水産、経済産業、国土交通、環境、基本政策、予算、決算、行政監視、議院運営、懲罰)の辞任の許可及び選挙、8特別委員会(災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、消費者問題、震災復興、原子力問題)の設置、2調査会(統治機構、デフレ脱却)の設置等が行われた。

(活動等の概要)

今国会中、新規に提出された法律案及び条約はなかった。また、いずれも衆議院で継続審査となっていた法律案(内閣提出8件、衆議院議員提出27件、参議院議員提出1件)は、全て、衆議院で継続審査となった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

会期末の8月7日、本会議で閉会手続が行われた。